

# The 6th Southeast Asia Collaborative Symposium on Energy Materials (SACSEM 7th)報告書

筑波大学数理物質系 国際マテリアルズイノベーション学位プログラムリーダー  
エネルギー物質科学研究センター  
中村潤児

開催日時：2021年11月16日（火）～17日（水）

開催場所：Zoom オンライン

参加人数：80名

講演者：24名（教員・講師：10名、学生14名）

関係聴講者：56名

担当部署：国際マテリアルズイノベーション学位プログラム、エネルギー物質科学研究センター  
オーガナイザー：中村潤児、鈴木義和、武安光太郎、

参加大学：

Institut Teknologi Bandung (ITB)

Universiti Kebangsaan Malaysia (UKM)

Universiti Teknologi PETRONAS (UTP)

Universität Duisburg-Essen (CENIDE)

King Mongkut's University of Technology Thonburi (KMUTT)

University of Tsukuba (UT)

University of Philippines, Diliman(UPD)

参加大学	発表者		聴講
	教員	学生	
Institut Teknologi Bandung(ITB)	1	2	2
Universiti Kebangsaan Malaysia(UKM)	2	2	2
Universiti Teknologi PETRONAS(UTP)	1	2	0
Universitat Duisburg-Essen(CENIDE)	2	2	1
King Mongkut's University of Technology Thonburi(KMUTT)	1	2	5
University of Tsukuba(UT)	2	2	39
University of Philippines, Diliman(UPD)	1	2	0
その他	-	-	7

<開催概要>

インドネシア、マレーシア、タイ、フィリピンなどの東南アジアの大学とのエネルギー材料研究に関する学術交流を深めるためのシンポジウムを開催した。インドネシアの Institut Teknologi Bandung (ITB)、マレーシアの Universiti Kebangsaan Malaysia (UKM) および Universiti Teknologi PETRONAS (UTP)、タイの King Mongkut's University of Technology Thonburi (KMUTT)、フィリピンの University of Philippines, Diliman(UPD)、ドイツの Universität Duisburg-Essen (CENIDE)と筑波大学が交流を深めるために、i)研究機関紹介プレゼンテーション、ii)教員のプレゼンテーションおよび iii)学生のプレゼンテーションからなる2日間のスケジュールでオンラインシンポジウムを実施し##名が参加した。研究分野としては、太陽電池、燃料電池触媒、バッテリー、光機能材料などエネルギー・環境材料の研究が多かった。学生の優れたプレゼンテーション2件に対して presentation award を授与した。研究機関の紹介が好評であり互いを知る良い機会となった。

